



2012年5月22日 第2012-30号

【発行】J A M

【発行責任者】宮本 礼一

【編集】政策・政治グループ

03-3451-2425

E-Mail : seisaku.seiji@jam-union.jp

政府が今2012夏期の節電目標を決定

5月18日、政府は次のとおり電力会社管内ごとに数値目標を設定し協力要請することを決めました。

	北海道	東北	東京	中部	関西	北陸	中国	四国	九州	沖縄
電力融通	○ ▲ ○ ○ ○ ○ ▲									
一般的節電要請	7月2日(月)～9月28日(金)の平日(8月13日～15日除く) 9:00～20:00									
節電数値目標(2010年比)	7%	なし	なし	5%	15%	5%	5%	7%	10%	-
期間(平日・8/13-15除)時間	7/23-9/7 9時-20時 9/10-9/14 17時-20時	-	-	7/2-9/7 9時-20時	7/2-9/7 9時-20時	7/2-9/7 9時-20時	7/2-9/7 9時-20時	7/2-9/7 9時-20時	7/2-9/7 9時-20時	-
万が一の計画停電準備	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
早朝・夜の一般的節電	早朝7:00～9:00、夜20:00～25:00									
節電にむけた取組	<ul style="list-style-type: none"> ・病院や鉄道等のライフライン機能維持、被災地や高齢者等の弱者に配慮。 ・過度の節電による熱中症等の健康被害が発生しないよう留意。 ・計画停電回避のため携帯電話ユーザーへの「緊急速報メール」一斉配信。 ・事業者と家庭にわかりやすい「節電メニュー」を提示するとともに普及啓発を徹底。 									

政府の節電ポータルサイト <http://setsuden.go.jp/menu/index.html>

周波数(1秒間にプラス極とマイナス極が変わる回数)が東日本50ヘルツ(Hz)・西日本60Hzと違うため、電力融通には変換が必要になりますが、現在の日本は設備の変換能力に限界があり、大きな電力融通は出来ない状態です。東西の周波数の違いは、電気事業が始まった明治時代に現東京電力がドイツ製(50Hz)を現関西電力が米国製(60Hz)の発電機を導入したことによります。

節電も必要ですが、暑い日の作業対策も大切です

～ 昨年の傾向や今夏の節電計画に基づいた2012年の職場での取り組み ～

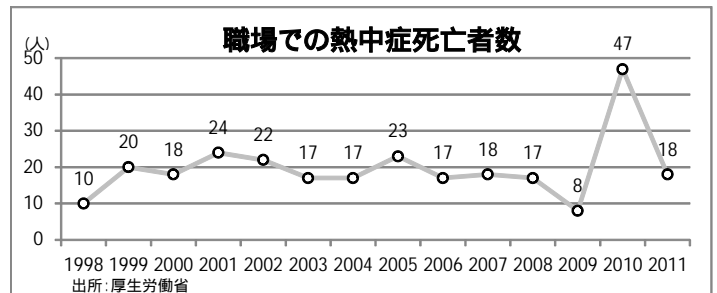
厚生労働省は、職場での熱中症予防について、WBGT値(暑さ指数)を測定することなどによって、職場の暑熱の状況を把握し、作業環境や作業・健康管理を行うことを2009年に通達しています。

熱への順化期間(熱に慣れ、その環境に適応する期間)を計画的に設定する

自覚症状の有無にかかわらず、水分・塩分を摂取する

熱中症の発症に影響を与えるおそれのある、糖尿病などの疾患がある労働者への健康管理を行う。

しかし、今夏は、例年並みかそれ以上の暑さが予想されていることや電力需給の逼迫が見込まれるため、熱中症に対する予防対策を重点的に実施することにしました。



2012年での職場の熱中症予防対策の重点的な実施について(厚労省/2012.05.18)

<http://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/2r98520000029dal-att/2r98520000029dq6.pdf>

熱中症を防ごう!パンフレット(厚労省/2011.03)

<http://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/2r98520000029dal-att/2r98520000029dpz.pdf>

熱中症の予防対策におけるWBGTの活用について(厚労省/2005.07.29)

<http://www.mhlw.go.jp/bunya/roudouki jun/anzeneisei05/index.html>